This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images,

please do not report the images to the

Image Problem Mailbox.

Vare

Vol. 9 Number 11 (M-351)

D2

) NONSKID NET FOR TIRE OF AUTOMOBILE

) 59-160607 (A)

(43) 11.9.1984 (19) JP

) Appl. No. 58-31827

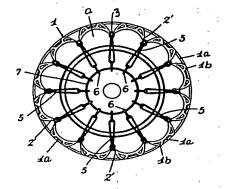
(22) 1.3.1983

) MOTOYOSHI TSUJITA (72) MICHIO HAYASHI

), Int. Cl3. B60C27/16

RPOSE: To contrive lowering of a noise, magnification of a nonskid effect and prevention of injury of a road surface, by forming a monskid net of more soft rubber than a tire and the size of the mesh of the net is set up at the size so that a part of a mounted tire is grounded.

NSTITUTION: A netlike belt 1 whose thickness is about 3~5mm is formed of more soft rubber than a tire (a) and the size of the mesh 1a of the net 1 is set up the size so that part of the tire (a) is grounded through the mesh 1a when the net 1 is mounted on the tire (a). With this constitution, when a connecting protrusion part 2' is mounted on the tire (a) by connecting the part 2' with a metal wheel 7 through an elastic string 5 and a hook 6, a space in the mesh is almost gone as a netlike part at the before and behind and the right and left of the grounded part of the tire (a) are crushed simultaneously with turning of the tire (a), which is restored along with rotation of the tire. Adsorption is generated at the grounded part through continuous repeatition of the above and a nonskid effect is improved. As there is no protrusion on the net, a noise and injury of a road surface can be prevented.



₹ # .

(9) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59-160607

(1) Int. Cl.³
B 60 C 27/16

識別記号

庁内整理番号 7443-3D 母公開 昭和59年(1984)9月11日

発明の数 1 審査請求 有

(全 3 頁)

3自動車用タイヤ滑り止めネツト

願

頁 昭58-31827

23出

21特

願 昭58(1983)3月1日

②発 明 者 林道雄

東京都北区赤羽台1-6-50-

718

①出 願 人 辻田源美

松戸市新松戸6丁目69番地サイ ライトパストラル弐番街A710

3代 理 人 弁理士 村井常男

明 田 田

1. 動物の名称 自動車用タイナ所り止めネット

個目をはし、タイヤ外間に装削されるゴム製の借り止めネットにおいて、前配面り止めネットを 目動車のタイヤより飲みのゴムで形成し、かつ袋 治時にタイナの一部が溢地する状態の個目間頃に 形成したことを特似とする目動車用タイヤ借り止

3. 発明の評価な説明

- 本発明は自動取用タイで滑り止めネットに関するものである。

自心車で質話を進行する場合タイヤの外間に金剛製チェン或はゴム製ネットを装着して借りを防止している。しかし前記従来の金鰯製チェンは借り止め効果は優れているが騒音と路面翻奨を損場するなどの欠点があり、又ゴム製ネットは前記チェンに比べ吸吸音で路面翻接を傷める思れがない

などの利点はあるが一番肝心ながり止め効果が劣 り安全性に大けるのの問題点があった。

本発明は耐配性米の火点を解消したもので、 供 励計で路面脳袋を損傷する出れがなく、 しかも借 り止め効果が優れた目動車用タイで借り止っるン トを提供するととを目的としている。

上記の目的を達成するため本発別は次のように 秘以したものである。

即ち本発明は個目をなし、タイマ外間に設定されるコム製の所り止め ホントにおいて、 別配 前り止め ネントを自動車のタイヤより 軟 及のゴムで形 攻し、 かつ 装 程時 にタイヤの 一部が 接地 する 状態 の 別目 間 頃 に 形成 したこと を 特徴 とする 自 如 車 用 タイナ 前り止め ネント で ある。

以下本発明の実施的を図開について説明する。 図において山は借り止めネントで、タイヤ(a)より 飲食のゴム材により厚さが3mm乃至5mm程度の何 状帯で振端状に形成されタイヤ(a)の外間に販合す

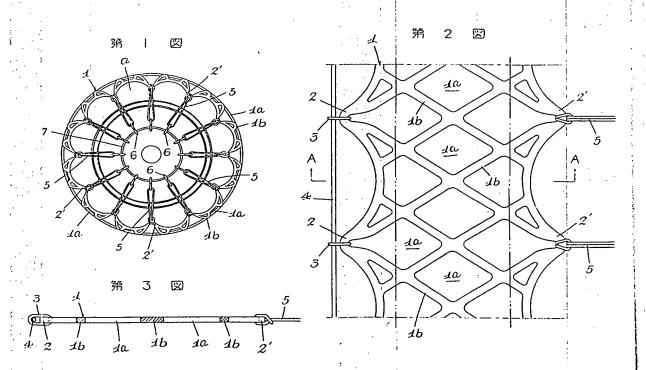
450周59-160607(2)

るようになっている。そして借り止めネット川の側目(1a)はタイヤ(0)の一部が侵地する制目間時に形成し、又装お時にタイヤ(0)の内側及び外側に位置する借り止めネット川の両間碌に所定の間隔を行して山形に突出する多数の係止突部辺には金属環辺を介してリイヤーローブ側が収付けられ、タイヤ(0)の外側にくる各係止突部切には金属環辺を介してリイヤーローブ側が収付けられ、タイヤ(0)の外側にマック(6)が取付けられている。このアック(6)は借り止めネット川をタイマ(0)の外間に飲合させた後、それせれ評性組間を引扱りながらタイマ(0)の中央部において金属でのに対したのスット川を緊切に対止めして対り止のネット川を緊切させるものである。前四中(1b)は網目(1a)を存成する網条部、(6)は路面を示す。

本発明は以上のように借り止めネットをタイマより改選のゴムで形成し、かつ設滑時にタイマの 一部が接地する状態の期目間隔に形成してあるの で、第4 図及び部5 図に示すように、タイヤ接地部の前後及び左右の翻状部は押し渡され期目内の空間は殆んどなくなる。そしてタイマの回動に伴って網外部が復元する際網目内に空気を吸引し、これが吸着作用を行なう。 従って 氷結した 路面で ない 吸 層作 一 に め 効果 を 発 揮 し 交 地 上 非 席 で 全 で ある。 特に 本 発 明に おい て は かり 止 め ネット に 突 起 等 が 全く ない で 智 の ない 路 面 走 行 に ひい ない 路 面 走 行 に ない 、 4 図 面 の 面 中 な 祝 明

図面は本発明に係る自動車用タイで借り止めま ットの天施例を示したもので、第/図はタイマに 接着した状態を示す側面図、第2図は一部の展別 平面図、第3図は第2図A-A般における町面図。 34 4 図及び第5図はタイで及び借り止めまットの 接地状態を示す説別図である。

(I) ~ 滑り止めネツト、(1a) ~ 納目、(a) ~ タイヤ。



-30-

